



学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」

小山台

学校だより
7・8月号
令和8年6月29日
横浜市立 小山台小学校



目標に向かって

校長 堀江 公子

6月に入り不安定な天候も多くなっていますが、学校では1年生の育てているアサガオが元気いっぱい蔓を伸ばしています。どの子も、大切に育てているアサガオの様子を嬉しそうに知らせてくれます。また、2年生の夏野菜もだんだん実ってきて、「また大きくなってるよ」と笑顔で伝えてくれる姿に、こちらまで笑顔になっています。6月12日にはプール開き集会も行われ、子どもたちはルールを確認しながら楽しく水泳学習に取り組んでいます。

さて、先日の6月19、20日に日光修学旅行を実施しました。今年度は「後ろは見ざる 楽しい声しか聞かざる 悪口を言わざる」のスローガンのもと、6年生の児童は、修学旅行当日に向けて、一人ひとりが役割と責任をもち、友達と協力しながら準備をしてきました。当日の出発式では、スローガンから、「反省するところはするがそれにとられ過ぎず、前を向いて進もう」「仲間のよいところや楽しい言葉に耳を傾けよう」「お互いを思いやり優しい言葉をかけあおう」というお話を子どもたちにしました。そして、自分から行動したり周りの人と協力したりして、自分たちで楽しいの修学旅行を創りあげて欲しいと伝えました。

バスレクでは、係の児童が盛り上げ、みんなに楽しんでもらおうとする思いが伝わりました。また、参加しているみんなは、司会の友達に協力し、しっかり言われたことに反応したり楽しんで参加したりする姿が見られました。さらに、誰かが歌を口ずさむと自然とみんなが歌い始め、バスの中はみんなの笑い声と明るい歌声、そして温かな雰囲気にも包まれました。グループ行動では、「少し休憩して次に行こう」など、友達の声を掛けができていました。

子どもたち一人ひとりが、自分のペースで目標に向かって頑張る姿。周りとは協力してよりよい活動にしようと工夫する姿。経験したことを通して、さらに自分たちで高め合おうとする姿。今回の修学旅行は、子どもたちの成長や可能性の大きさを改めて感じる機会となりました。

7月には台風のため延期となりました野島宿泊体験学習があります。そこでも自分たちの目標に向かって全てで取り組む子どもたちの姿が見られることと思います。

《児童の日光修学旅行振り返りより》

- ・あいさつやお礼をきちんと伝えられた。
- ・計画を立てて時間を守ったり、ルールを守って行動したりできた。
- ・友達や班の人に合わせて行動できた。
- ・部屋のなかで相手に思いやりをもって行動できた。



まだ、完璧じゃないところもあったので、残りの学校生活の中で少しずつよくなっていきな!

早いもので、7月18日(土)から「夏休み」が始まります。交通事故や水の事故等には十分お気をつけください。夏休み明けに、お子様が元気に登校してくることを楽しみにしております。

